

目次 令和5年度東京女子医科大学医学部・基礎系教室研究発表会(令和5年10月19日)

メタデータ	言語: 出版者: 東京女子医科大学学会 公開日: 2024-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/0002000112

令和5年度東京女子医科大学医学部・基礎系教室研究発表会

日 時：令和5年10月19日（木）11：00～15：10

開催方式：オンライン【Google Meet】

主 催：基礎医学系運営会議幹事会

発表 15 分，質疑応答 5 分

司会（薬理学助教）梶健二郎

（生化学助教）瀧澤光太郎

1. チロシンリン酸化/脱リン酸化を介した樹状突起伸長機構

司会（解剖学（神経分子形態学分野）助教）齋藤文典

2. トロンボポエチンシグナルによる免疫調整機構の解析

（解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）助教）矢作綾野

司会（病理学（人体病理学・病態神経科学分野）准教授）増井憲太

3. *C.elegans* の全身性 RNAi をモデルとした機能性 RNA の輸送機構の解明

（生理学（分子細胞生理学分野）助教）吉田慶太

司会（生理学（神経生理学分野）助教）丸山拓真

4. ヒト iPS 細胞由来心臓組織におけるコネキシン 43 の抑制は、

心筋細胞増殖を介して収縮力を向上させる

（先端生命医科学研究所助教）高田卓磨

司会（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野）助教）山口慎史

5. ヘテロクロマチンを標的としたマラリア原虫の生存戦略の解析

（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野 グローバルヘルス部門）特任助教）森 稔幸

司会（総合教育学修センター（基礎教育学）教授）西井明子

6. カドミウム曝露により惹起される尿細管細胞死の分子基盤の解析

（衛生学公衆衛生学（環境・産業医学分野）助教）藤木恒太

司会（法医学助教）多々良有紀

7. 自己免疫性膀胱炎の病態形成に関与する細菌因子

（微生物学免疫学准教授）大坂利文

司会（総合医科学研究所准教授）田邊賢司

8. CBL 変異を有する慢性骨髄単球性白血病における UTX 機能欠失による急性転化機構の解析

（実験動物研究所大学院生）黒川美有

司会（解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）教授）石津綾子

9. 本学における科研費申請・獲得支援への取組みから導き出す

医科単科大学に適した Pre-Award 支援の在り方

（研究推進センター助教）佐々木孝寛

1. チロシンリン酸化/脱リン酸化を介した樹状突起伸長機構

（東京女子医科大学医学部生化学分野）

瀧澤光太郎・中村史雄

神経細胞が高度なネットワークを構築するためには、適切な神経突起の伸長が必要である。セマフォリン 3A (Sema3A) は軸索伸長を負に、樹状突起伸長を正に制御する。Sema3A の下流ではチロシンキナーゼ Fyn の活性化が起こるが、その機構は不明であった。我々は Sema3A 依存的に Fyn を活性化させる分子として受容体型チロ

シンホスファターゼ δ (PTP δ) を同定した。しかしながら樹状突起伸長に関わる他の PTP δ 基質はほとんど知られていない。そこでリン酸化プロテオミクス解析を行った結果、PTP δ ノックアウトマウス (Ptp $\delta^{-/-}$) において SIRP α の Y501 残基の過剰リン酸化を見出した。SIRP α Y501 は Fyn によってリン酸化されることが知られている。PTP δ 酵素ドメインは SIRP α リン酸化 Y501 (pY501) を直接脱リン酸化し、野生型の初代培養神経では、Sema3A 依存的に pY501 が低下したが、Ptp $\delta^{-/-}$ ではむしろ増加した。SIRP α Y501 の非リン酸化変異体 (Y501F)